

令和2年度 第2回 FMはまなす番組審議会 議事録

1. 開催年月日 令和2年7月30日(木)
2. 開催場所 岩見沢市有明町南1番20
岩見沢市コミュニティプラザ1F FMはまなす会議室
3. 出席者 審議委員総数 8名
出席委員数 6名

出席委員の氏名
 - ・岡 嘉彦
 - ・永沼 興子
 - ・仁志 正樹
 - ・北口 博美
 - ・畑 孝子
 - ・加藤 一美
局側出席者
 - ・阿部 啓吉(社長)
 - ・松井 宙夢(スタッフ)
4. 議題 「局制作番組」「市民制作番組」「他局制作番組」についての審議
5. 議事の概要(放送期間7/7~7/21)
 - (1) 局制作番組
「ハッピーエンディングを迎えるために」
 - (2) 市民制作番組
「民話の散歩道」
 - (3) 他局制作番組
「SPACE SHOWER RADIO」
 - (4) その他の意見について

6. 審議内容

(1) 「局制作番組」について

「ハッピーエンディングを迎えるために」

葬儀についての疑問やマナー、リスナーからの質問を地元の葬儀会社である、岩見沢公益社の斎藤社長にお聞きしていく番組。

① 事前意見回答報告

永沼委員

7月13日(月)の放送について

「リスナーの質問に対して、答え方や最近の葬儀の傾向など、やわらかな話し方がとても好感が持てました。」

仁志委員

7月13日(月)の放送について

「随分「現実的な切実な話し」で、葬儀にも種類があることも含め、知らない事の多さに正直驚いていますし、「知りたくない、知らない事」で済む年代では無くなりましたので勉強になります。コロナの影響が、世界のあらゆる生活様式を変える事で、この「分野でもか」と感じました。葬儀参列時、各自の時間でお参りをして帰宅する事がお互いを守る事に少し慣れて来ましたが早い終息を願いながら、3密を避けて安らかに暮らす事を目指したいものです。大切な話題に、今後も聴きたい番組の一つです。勉強になります！！斎藤社長のお話は、分かり易いです。

北口委員

7月13日(月)の放送について

「親族間で起きた納骨の悩みなど身近な相談にのってくれる、人々の気持ちに寄り添った良い番組だと思います。人に聞きづらいけれど、教えてほしい切実な問題を質問できるのは、ラジオならでは、役に立つ、学べる番組だと思います。コロナウィルスの影響で葬儀のかたちも変わっていますが、「お別れは大事」、と教えてくれて、心に響きました。」

② 審議

岡委員長

「では、審議を始めます。葬儀に関しては分からないことが多いので普段から聞いておくことが大事ですよ。良い番組だと思います。」

永沼委員

「話し方が柔らかいので、理解し易いと思います。」

加藤委員

「聴きたいと思った時間帯に聴けなかったので再放送をして欲しいです。」

岡委員長

「再放送で聴く人もいるので、再放送の回数を増やしても良いと思います。では、次に進みます。」

(2) 市民制作番組について

「民話の散歩道」

民話の朗読と物語にまつわるエピソードを通して、リスナーにふるさとを懐古して貰うと共に、地域の魅力を再認識、再発見して貰う番組。また、昔話の語り部となり、若者世代へとふるさとを語り継いでいく番組。

① 事前意見回答報告

岡委員長

7月7日（火）の放送について

「導入の話題はコロナ感染に気をつけ夏を乗り切ろうから、天然ガスの話～北村、栗沢、地下資源として眠っている電灯がともる～明治24年札幌、電気をフーと吹いて消そうとしたエピソード。菜種の油、ランプのほやの掃除は子供の役目の話。白熱球から曇りガラス球、蛍光灯、LEDへと、

古き良き時代の風景、懐かしい話に好感を持ちました。語りが自分を出さずに淡々と非常に上手で吸い込まれる。良い番組です。」

7月21日（火）の放送について

「ため池にまつわる話。「狐に騙されたお話」「蛍になったあやのお話」いずれも語りが上手い。楽しんで聴きました。」このような番組は興味があればなかなか面白い。子供にも聴かせたい番組と思う。岩見沢を知ることが出来る。番組のPRがされれば聴く人も多いと思う。」

仁志委員

7月7日（火）、21日（火）の放送について

「この番組は何度も聞いていますが、田中さんと市川さんの語りが落ち着いて聞ける雰囲気、空間が大好きです。岩見沢の個々の地域の歴史と住んでいた人の苦労話し判る番組でした。開拓時の北村地区、栗沢地区の地下資源を利用した夢のある話。明治11年3月25日が電気記念日ランプ生活での苦労から開放された話し、「お寺の釣り鐘物語」「錦糸の池」「蛍になったアヤ」など心の洗われる沢山のお話を聞けました。「少し寂しく、せつなく聞きました」民話の心に少し触れた気がします。今後も、地元の歴史を知る機会であり「是非聞き続けたい」番組の一つです。」

北口委員

7月21日（火）の放送について

「パーソナリティーの優しい語り口が、穏やかな気持ちにさせてくれます。岩見沢駅の歴史、金志貯水池物語、など、岩見沢の民話を地元の子供たちに（大人にも）聞いてもらえたら、自分の住んでいるまちにもっと関心を持ってくれるようになると思います。学校教育にも使えそうな、今後もぜひ続けてもらいたい番組です。」

畑委員

7月21日（火）の放送について

「二つの民話の語りの口調や音程が二人ともにあまり変化がなく、そこに留まった雰囲気の中に始まり、気づくと終わっていたという印象でした。」

加藤委員

7月21日（火）の放送について

「オープニングからゆったりとした音楽で、心落ち着く感じを受け、語り部の女性二人の話し方も優しくとても聞きやすく感じました。番組の最初に、岩見沢駅の成り立ちや岩見沢近郊の三笠市と鉄道を通した歴史については、興味深く聞くことができ、次の物語もゆったりと聴くことが出来ました。しかしながら、最後の物語「蛍になったアヤ」については今の時代に内容がそぐわないと感じました。聴く側の私の聴き取り方がもしかしたら間違っているのかもしれないかもしれませんが、私が聴いていて感じたままに書かせていただきます。「蛍になったアヤ」の内容が、オイルランプをつけようとした女の子が誤って、ランプを倒し、顔に大火傷を負ってしまい、命はとりとめたが容姿があまりにも変わり、医者からも鏡は見せるなと言われ、両親は命があっただけでも良かったとそれを守りながら数年が経ち、アヤ本人が蛍の生息するきれいな池の水鏡で自分の容姿の変貌を知り、その容姿に絶望し自殺して蛍になる。という様な内容だと僕は拝聴いたしました。コンプレックスに自暴自棄になり、自らの命を絶つという内容は、このご時世に合っていないと感じました。収録前の段階で、物語の内容の確認精査が必要ではないかと思えます。このコロナ禍でも、楽しい番組と仕事しながら聴けるBGMをありがとうございます。」

② 審議

岡委員長

「皆さん好感を持った番組のようですね。」

永沼委員

「内容が恐ろしいですね。」

畑委員

「二人の喋りが似ているので、BGMも含めトータルで考えるともっと表現の仕方を変えた方が良いと思う。」

岡委員長

「番組としてはこのような番組も良いと思います。生徒に聞かせる等活用できないでしょうか。」

北口委員

「岩見沢の歴史を伝えるには良いと思います。」

仁志委員

「恐ろしい、切ない内容はどうかなと思いました。差し障りのない程度に少し変えていってはどうですか。」

畑委員

「辛くて悲しいけど、ほんわかした物が残るように変えても良いと思います。」

仁志委員

「原作をアレンジしたと、コメントを入れたらよいのではないのでしょうか。」

畑委員

「どんな民話を選ぶかですよね。」

仁志委員

「子供には難しいと思うのでアレンジしてはどうか。」

加藤委員

「聞き手は手元に本が無いので、どこから引用しているのか話す前におおごとの事を言って貰いたい。語り継いでいく番組にしたいのであればもう少し工夫が欲しいと思います。」

岡委員長

「民話は原本を変えてはいけないので、コメントや内容の選択を考えると良いと思います。続けて欲しい番組です。」

北口委員

「午前中の放送なので、明るい民話を選ぶとかした方が良いと思います。」

岡委員長

「では、次に進みます。」

(3) 他局制作番組

「SPACE SHAWER RADIO」

FM-JAGA（帯広）の音楽番組。スペースシャワーTVがプッシュしているエッジのきいた音楽をたっぷりお届けする番組。

① 事前意見回答報告

岡委員長

7月14日（火）、21日（火）の放送について

「ロックなどの音楽番組、アーティスト情報、軽快な話術など、このジャンルの音楽好きには楽しい番組と思う。」

北口委員

7月21日（火）の放送について

「スペースシャワーTVがプッシュしている…との事で、初めて聞く歌でも、あまり興味のないジャンルの音楽でも、聴きやすく選曲のいい、あっという間の30分間でした。」

畑委員

7月21日（火）の放送について

「カタカナのあふれた音楽で、普段聞き慣れているジャンルではありませんが、私が言うのも何ですが、レトロ感有り、心地良い曲も有り、興味深い30分でした。」

MC の方も曲説明に徹している所もスッキリしていて良かったです。」

② 審議

畑委員

「何かしながら流れるなら良いと思う。」

北口委員

「たまたまこの日がこのような曲が多かったですよね。」

畑委員

「言葉の情報量が凄いですよね。」

スタッフ松井

「当局にはないジャンルの番組です。」

永沼委員

「トークが多かったように思います。」

岡委員長

「番組の流れが速かった。音楽を分かっている人には良かったのではないのでしょうか。では、次に進みます。」

(4) その他の意見について

① 事前意見回答報告

加藤委員

「GOTOトラベルの申請の仕方。岩見沢の新型コロナウイルスに対する医療機関の情報。例えば、特定指定病院である岩見沢市立病院の受け入れ態勢病床数や各病状に合った受け入れ態勢など、岩見沢にいなながらも岩見沢の今の状況が全く分からない。いつ岩見沢でまた罹患者が出るかもしれない中で、身近な病院の準備態勢を知る事で安心に繋がるのではないかと思います。」

②審議

加藤委員

「話の中で情報提供して貰えれば良いと思います。」

岡委員長

「発表できることは決まっているのですか？」

スタッフ松井

「市や保健所の発表を元に放送しています。」

北口委員

「コロナの特別番組を放送するのでは？」

スタッフ松井

「7月から放送しています。」

加藤委員

「コロナの情報を発信できないのかと思って、今回意見を書きました。」

岡委員長

「出来る範囲で放送して欲しいと思います。意見をうまく活用して下さい。では終了します。」

7. 審議機関の答申処置及び年月日

なし

8. 前回の審議会の指摘事項について改善した事項

1) 局制作番組

「ひと まち げんき！」

各方面との連携を含む番組構成の検討をお願いした。

2) 市民制作番組

「私の源氏物語」

番組進行の工夫をお願いした。

9. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表内容、方法及び年月日。

公表方法	自社放送、ホームページ、局内設置議事録
公表内容	委員の主な意見
公表年月日	令和2年8月15日

10. その他参考事項

特にありませんでした。